

国道52号規制装置撤去

清水区 通行止め区間が短縮



通行止め装置を撤去する作業員

—静岡市清水区

国土交通省静岡国道事務所は二十三日、大雨時の通行規制区間短縮で不要になった静岡市清水区の国道52号の通行止め装置を撤去した。

同事務所によると、国道52号の県内部分にはこれまで、逢坂と富士見峠の二カ所に通行規制区間が設けられていたが、区間内にある同区穴原地区と清水工業団地の孤立化が問題だった。

土砂崩れ防止工事などになった。進展で、四月から逢坂は区間短縮、富士見峠は廃止となったため、規制時も周辺の県道へ迂回(うかひ)できるように土砂崩れ防止工事などになった。作業では、クレーンを使い、異常気象時に通行止め情報を表示する案内板などを撤去した。同事務所の担当者は「区間短縮で孤立解消と工業団地への安定した物流の確保が期待できる。残りの規制区間も撤廃できるよう努めたい」と話した。